

私にできる社会貢献

[テーマ④私にできる社会貢献]

拓殖大学別科日本語教育課程

傅 冠文〔中国〕

現代社会で、水は日常生活に不可欠です。中国では水道水を直接飲みません。沸かした後飲みます。しかし、日本に来て旅行した時、日本の水道水は直接飲むことができると知りました。それまで私は知りませんでしたが、日本は先進国として、飲用水の給排水方式の発展においてこのように先進的です。また、日本の道路は、雨が降っても冠水しません。このことにも大変驚きました。その時見た光景は私に深い印象を残しました。中国でも将来、このような先進的な給排水システムを構築する必要があると思います。そのため、私は中国社会の水供給の発展に貢献したいと考えています。

私は大学では水処理について学びました。環境保護の知識も身につけ、給水の安全性は非常に重要であることを認識しました。専門の勉強を始めた後は、ペットボトルの水を飲むことが多くなりました。それは自分の国の水道状況が分かってはじめて、水道水の品質が心配になったからです。中国は急速な発展に伴い、水に関する問題が徐々に明らかになってきました。大学時代学生寮に住んでいたのですが、長期休暇が終わって寮に帰ると、水道水はいつも濁った色をしていました。そして多くの水が浪費されていました。それは中国のどこでも発生している問題でした。大学で、専門知識を身に付け、このような問題を解決する方法について、さまざまな理論と給排水システムの設計方法を学びました。中国の水道設備を改善するために、私は学んだ知識を使い、さらに新しい知識を学び続け、より合理的な上下水道シス

テムを設計したいと思いました。特に上水道について、自分の能力を使って安全性の高い上水道を設計して中国の人々に良質な使用体験を届けたいです。

日本旅行から帰った時には、私は自分の専門の実用性に対して以前より深い認識を持っていました。そして、日本に留学する考えも生まれました。留学の目的は飲料水の安全性についての知識を吸収して、帰国後は中国の飲料水の安全性確保に貢献することです。私が子どもの頃住んでいた町には、川がありましたが、いつも嫌な臭いがしました。日本に来たばかりの時、うちの近所に散歩に行き、近くの川のほとりを歩きましたが、そんなに刺激的な臭いはありませんでした。公園も自然に身を置くような感情にさせてくれました。日本の先進的な技術を感じました。中国は工業化の原因で、化学汚染物が水に混入して、水道水を飲むことができなくなる事故を起こすことがあります。私は中学生の時、そのような経験をしました。非常な不便と恐怖を感じました。今はそのような事故はあまりありませんが、私は飲料水の安全性について関心をずっと抱き続けています。現在日本に留学中で、今後進学して研究したいのはやはり飲用水の処理技術についてです。将来毎日の生活に大切な飲料水の安全性を守るために、今の勉強を頑張っています。

現在、私は別科で1年ぶりに勉強しています。日本の文化が少しわかるようになりました。私はまだ日本に住んでいる期間は長くありませんが、突然の断水にはまだ遭遇していません。中国は地域が広いことから、給水の複雑性と難度も日本よりもっと高いです。私の住んでいる町では突然断水することがあります。毎日大切な水がないと、住民は非常に困ります。また、日本は環境保護を中国より重視しています。水の利用は、自然循環の一部であり、水の効率性のある給水方法の

研究は、社会の持続可能な発展につながるものがあります。私はその理念に同意します。中国の社会も国の給水に関しての発展理念を持って、先進的な技術を開発しています。私は日本に留学して学んだ日本の先進的な発展理念を用いて、中国の給水システムの発展に貢献しようと思っています。一人の力は微小ですが、一滴の水が海に流れ込むように、私の努力は最終的に目標を達成する一部になるだろうと信じています。日本文化と中国文化を理解する者として、私は日本と中国における実用的で効率的な給水システムの構築・発展に貢献します。

